

第七話

世界のトイレ事情と日本

トイレとの出会い

↳トイレ占有時間の調査↳

実は私、たまたま日本トイレ教会の会長などさせられたものですから、若干皆様にお役に立つようなお話ができればなと思います。お気軽に聞いて頂ければ有り難い次第です。

私自身が、トイレにかかわったのはいつ頃かと申しますと、今から二十年ちょっと前になります。東名高速道路ができる頃に日本道路公団から慶応大学に、もし、名古屋まで自動車道路が出来た場合、公衆トイレを何キロおきくらいに、どのくらいの規模で作ったらいのだろうか、というような質問がございました。大学側でもどうしようかということになりました。結局、皆面倒くさいものだから嫌がって、私が人文地理学を担当していたものですから、一番人文地理学が近いんじゃないかなんてことで、私に答申をしろということになりました。

西岡 秀雄

そうなりますと、まず、男女、トイレに入った場合実際している時間ではなくて、どれだけ便所を使っているんだろうか、つまりドアを開けてから、また閉めて、そして用を済まして、また出て来るまでの時間ですね。「便所占有時間」と、これが長すぎるものですから、英語に直すと、「トイレオキ ユベーションタイム」ということで、TOTと略語を作ったわけがございます。このTOTが不可欠なのにわからない。それで私は、そのTOTがどうなのかというのを具体的に、まず統計をとってみようと考えました。これには、公衆便所の前でタイムウオッチ持ってられないものから、わからないように急行の汽車に乗りました。御承知のようにトイレに人が入るとドアがスイッチになって、人が入ったのが御客様のほうにわかるようになっていきますね。けれども、あれは残念ながら男の人が入ったか、女の人が入ったのかということを表示致しません。従って、やっぱり、ドアが見える

辺りに皆腰を下ろして、そしてそつとタイムウオッチを持って、入った、点いた、消えた、をとって見たわけです。

それで、学生たちに東京から大阪まで行って帰って来いというわけで、皆統計を取って見たわけです。こうして沢山データ集めてみた結果どうなったかという、男の人が日本人の場合、小用は平均三十一秒七、女の方は一分三十三秒フラット、という答えが出たわけです。簡単に言えば、大体女の方は男の人より三倍トイレを占有している。これは実際にしている時間ではなくて、トイレに入っている時間ですね。要するに中で身づくろいの関係とか、個室ですから、廊下の向こう側に化粧室があっても、そこを使わないで、個室の中でリップステックを出すというご婦人もいるわけです。だから、とにかく大体三倍入っているということになった。ここで、男女同数だと仮定すれば、どこでも女の方の便器というのは、男の三倍なければ駄目だという結論が一応出るわけです。

これは、外国人だともうちよつと、時間が長くなります。外国人は日本人より膀胱のキャパシティが大きいものですかね。しかし一日の回数は少ないですね。だけど白人は一回し始めたら相当長いというのがデータに出てまいります。オリンピックなんかで特に外国人が大勢来るようなときは、もうちよつと長めに考えたほうが安心だということがありま

す。実際、オリンピックのとき、日本はうまく成功したんですが、カナダのカルガリーでしたかね、そのときは大変な失敗をしちゃったそうです。それは何故かという、日本のほうはお役所のほうで、外国人の来る人数を少しオーバー気味に考えていたんです。ところが思ったより来なかったというお陰であまり恥かかずに済んだということで、偶然だったんですよね。もし、まともに考えた通り来られたら、やっぱり詰まったり、汚れたり、大変なことだったろうと思うんですが、その点はいえって日本は巧くいった。偶然御客さんが少なかったんで、切り抜けたというようなことはございます。そんなことが、私のトイレに関わった最初の出来事だったんです。

トイレトベーパー以外の拭き方と拭く用具

その後、私が人文地理学を担当しておりまして、海外へ行くチャンスが非常に多くて、なんだかんだと言って、現在までに七十二か国くらいまわったわけでございます。七十二か国と言っても、現在世界の国の数は、もう、今日始まったオリンピックでも、百六十近くですか。だから、まだ半分見えないことになるんですが、それでも、アフリカなんかちっちゃな国が九十もありますからね。主な所は見たと申し上げてもいいかと思うんです。

その間私はいつでも自分の土産物として、いろんな国のトイレットペーパーを、二枚位もつてくるのが習慣になってまして、それがたまりたまつて、四百種くらい。見てるといろんな国柄がわかってくるというようなことから、ちょっと人文地理学の資料になりそうだという気が段々してきて、それで私が定年になる十年位前から、実際に最初の人文地理学の一時間目の講義の時に、横長の黒板にエアッと貼るわけです。すると、新入生というのは緊張してますから、最初の授業だということ余計コチン、コチンになって聞いているわけです。いきなりいろんな国のトイレットペーパー並べると皆あきれかえつて、人糞地理なんて言われたり。女子学生はもうちょっと上品に私のことを「ちりがみさま」なんて言つて。(笑)

そういうようなことで、役に立ったわけでございます。今日は重要な結論を先に申しあげますが、トイレットペーパーという問題から議論しますと、正確な人口はもちろん出ませんけれども、現在トイレで紙を使う人口というのは、世界総人口の三分の一ございませぬ。従つて世界総人口の三分の二以上が、紙以外の物を使っているわけでございます。それで、その紙以外の人達は一体何を使っているんだらうというのを申し上げますと、大体十四種類くらいあるんですが、第一番目が指と水で始末する国でございます。主な国の例を上げますと、インドとか、インドネシアが指と水でこ

ざいます。

現実にインド人は、缶詰の空き缶に針金の把手つけましてね。それに水入れて、朝暗いうちに、野原へ出て行きます。それで、こっちの手で水の入っている缶を持って、そして用をたすと、この後ろから割れ目のところに上手に水を流し込むわけですね。そして自分の左手の指で拭いちやうわけです。これはね、皮膚と皮膚の接触ですから、指の始末さえ良ければ、本当は良いことかもしれないですね。でも、やっぱり、食べる物はこっちの手(右手)使つて、こっちは不浄の手(左手)と決められていますから、やっぱりわけたんだらうと思ひますね。だから左手は不浄の手というのが彼らは当たり前になつてゐるんですね。

私も実際にインドで調査しておりますときに、朝暗いうち、自動車でライトを消して走つててすね、わざと野原の方に向かつてバットとライト当てるわけですね。そうすると皆、びっくりしてね。ぞろぞろと立ち上がるからすぐわかりますよ。その場合、男の人のほうが八割りしゃがみ小便なんです。それから、女の人のほうが立ち小便が八割り。西暦前五世紀にヘロドトスというギリシャの旅行家がエジプト行つたときの紀行文がほんのわずかですが、残欠が残っております。それに、ギリシャの生活と比べると非常にエジプトは反対なことが多いというようなこと書いてる中で、皆うちの

中で食事しないで外でしているのが多いとか、やたら女の人
が働いて男が働いていないとかね。それから女の人が立ち小
便してるってなこと、興奮して書いてる記録がございます
がね。その状態がそのまま現在のインドの郊外で見かけるこ
とができるわけでございます。

それから二番目、指と砂を使うところですね。これはサウ
ジアラビアですね。砂漠の砂は非常に細かく砂嵐で揉まれて
ますから、顕微鏡で見ても角がございません。それで非常に
さらっとします。日本でいう砂時計の中に入れる砂みたい
に。これを缶詰の空き缶にしゃくって便所の隅に置いてあり
ます。そうするとやはり左手の指をつっこんで、そして、汗
ばんてますから、指先にきな粉のように砂がつきますよね。

それでお尻拭いて、お尻のほうについた砂は歩いたらおっこ
っちゃいます。これが普通なんです、上流社会だけは、ち
よっとこれだけじゃ心もとなないので、指先きを水洗いしたい
とこなんですけれども、水道はございません。結局むこうの
人は、フランスの会社で作っているミネラルウォーターを輸
入しているわけです。その空き瓶をとっておきまして、そ
れに地下水を入れてそれが横に置いてありますから、それで
ちよっとそいで、指先きを上にするとすぐ乾いちゃうん
です。要するにトイレの中に、紙とかタオルとかそういうもの
何も無いわけですね。一切自然のまままで始末しちゃおうとい

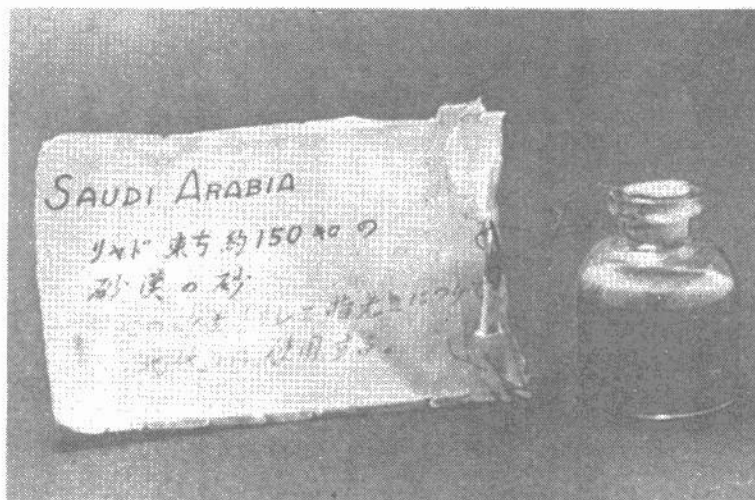


写真-1 紙代りに使う砂
(サウジアラビア)

うのがサウジアラビアでございませう。

今話したのは、中流から上流の方です。一般の人は、あの暑い所ですから、わざわざ毛布みたいな被ってね。毛布じゃなくて、フェルトですけれどね。フェルト被ったまま、砂の上にはしゃがんで、後、こう砂をかけておけばいいわけですよ。すると、水分はもう直ぐに落ちた瞬間に蒸発しちゃいますので、後はからんからんの糞だけが残るわけですけど、それを砂嵐が粉々に吹き飛ばしてしまします。

それから、先般、私がアラビアの方に出張しておられる方の紀行文を読みましたら、向こうの人と同じように砂漠の上で用をしてみた方がいるんですね、わざわざ。誰でも自分の糞というのは、ちよいと見たいものなんです。見たら自分の糞がもろに動いたんですね。それで飛び上がってびっくりした話があります。あの熱い砂の中に、日本で言うところと蟻ごじくという動物がいますよね。あれの少しでかいやつが、あの熱い砂の中に居るらしいんですね。そこへ、ボトンとやったものだから、むこうとしちゃ天から食べ物が落ちてきたわけですからね。引きずり込もうって、自分の糞が動いて砂の中に入っていったんでびっくりしたって話を書いてございました。これはサウジアラビア。

三番目の国は、小石を使う国。これがエジプトでございませう。小石。これくらいの小石でございませう。大理石で、ピラミ

ッドを作っている石と同じやつですが、これもやっぱり砂でもまれて全然角が無い小石になっています。皆さんもよくエジプトという所、ピラミッドの下を一行になつてらくだが歩いている写真を御覧になると思ひます。ああいうときに日本人は非常に情緒的ですから、らくだを引っ張っている人は何か馬子歌でも歌っているような感じで見ちゃうわけですが、現実の彼らは、とにかく絶えず砂の中に適当な小石がないかと、一生懸命見ながら歩いているわけです。あつたらすぐにポケットへ入れます。そんなもの直ぐ使おうと思つたら、熱くて飛び上がる程になつてますからね。必ずポケットに入れて充分冷やしてから本番の時使ふんです。だから大体、あのピラミッドの近くへ行つて小石を見つけたら、必ず誰かの使つたものと思われて結構ですよ。(笑)ただし、物凄く熱射で消毒されてますから、汚いということはないはずでございませう。

それから四番目ですね。四番目は土板。泥の板と言ひますか、日本で言えば植木鉢のかけらと思つてもいいでしょう。形が三角形で、角がちょっと丸くなつてます。これは石と違つて、日射で物凄く熱くはならないんですね。少しは熱くなつてはいるが、そんなにひどくは熱くない。しかも泥ですから、少しざらざらしてますから、拭いた気がしますよね。その点でやはりこのほうが、小石を使うよりは少し進んでいる

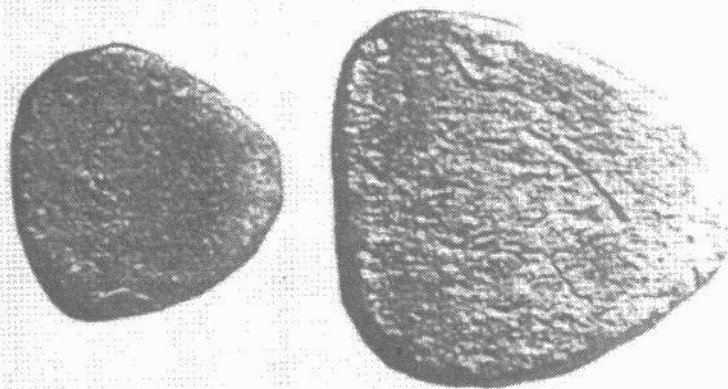


写真-2 パキスタンの土板

文化かもしれません。現実には、これはパキスタンあたりが多
いですが、古くはモヘンジョ・ダロという有名な考古学の遺
跡からも沢山出てまいります。だから、かなり古く紀元前か
らの民俗ということがわかります。

この辺の便所はみんな腰掛便所になってますね。下に水が
流れて、水洗便所にある程度なっていると言える感じでご
います。ただこれが紙代わりだということを、ヨーロッパの
考古学者も初め気がつかない。今でもまだトイレなんていう
のは、学問になっておりませんから、そんなの学校で教えな
いんですね。ヨーロッパの考古学者はこれが沢山出てくるも
のですから、神様に差し上げるビスケットの模造品だと思っ
たんですね。それで「クレイケーク」という呼び名つけちゃ
ったんです。粘土のお菓子ね。

ところが、クレイケークという名をつけたものですから、
日本の考古学者もそう思い込んでいたんですが、近頃いろん
な研究から、これがむこうの下水の中から、いっぱい出てく
るといって、神様にあげるビスケットをそんな所に沢山捨
てるはずはないし、段々わかってきて、これが紙がわりの
ものだということになりました。

日本では「インダス文明の流れ」という本が、創元社から
出ておりますが、それには初めてこれがトイレットで使われ
たものだということを書き始めました。引き続いて、私が「古

代の遺跡の秘密」という本で学研から出した子供向けの漫画ですが、早くから子供に先に教えちゃおうということで、世界ではいろんな紙があり、拭くものがあるんだよということを書いたわけでございます。

それから五番目が葉っぱですね。それはソビエトとか日本などもその例でございます。日本なんか特に平安朝時代ぐらまでは、落の葉を沢山使いました。有名な金田一京助という言語学の先生が書いておられるように、落という言葉と拭くという語源は同じなんだということは、この植物からきているようにございます。

落は北海道から九州まで、かなり不偏的に生えてる植物です。すからいいんですが、沖縄あたりへ行くとこの落がもう無くなってくる。そうすると、「おおはまぼう」なんていう、むしろの方は「ゆうな」とも言ってますが、こういう葉っぱも使います。少し大きな葉っぱなら何でもいいわけ。佐渡島へ行けば、佐渡島に生える植物が使われています。

戦争の後でしたか、中国では捕虜に対してちゃんと紙を支給しました。ところがソ連は全然支給してくれなかったものですから、ソ連に抑留された日本の将兵で一人腹立てたのがいて、いくら捕虜だからと言って便所の紙くらいくれたっていいじゃないかと、かみついたのです。そうしたら、ソ連側のほうで「トイレで紙どうすんだよ。」って逆に聞かれてね。

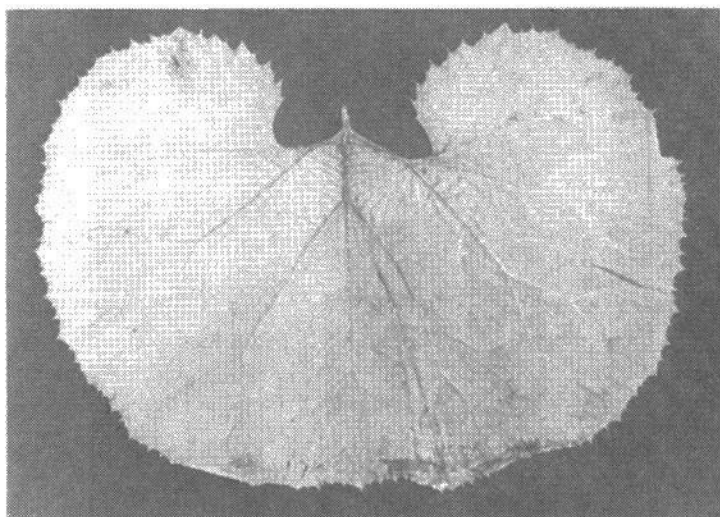


写真-3 日本古代に使われた落の葉

向こうは全部葉っぱしか使っていない国ですから、何でトイレで紙がいるのかわからなくて、逆に質問されたという話を聞いたことがあります。

それから実際、冬場だと雪ばかりで気のきいた葉っぱが無い時があるんで、しょうが無くて枕の綿を抜いて、少しづつ使って丁度べたんこになった頃に日本に帰れたなんて話もありましたね。

それから、六番目はいろんな茎を使います。麻とか稗とかですね。茎を使うんです。これは日本、それからソ連なんかも使います。

それから、もう一つ、藁もかなり使ってますね。現在、岩手県なんかでも藁が竹筒にソーダー水なんか飲むような感じでさしてある。それを上手に半分折って使うというような形が岩手県でもあります。それから長野県でもかなり藁使っている所があります。

それから八番目が木片です。これ、岩手県の例でございます。こういう、なんでも箱をこわした木、何でもいいわけですね。これを岩手県では「チュウギ」という言葉を使って、長野では「チョコウギ」、中国では「ジョウキ」と言ってる。浄める木ですね。

それから九番目が、ロープを使う国ですね。ロープの使い方には二つございまして、第一は中国式のロープトイレなんです。

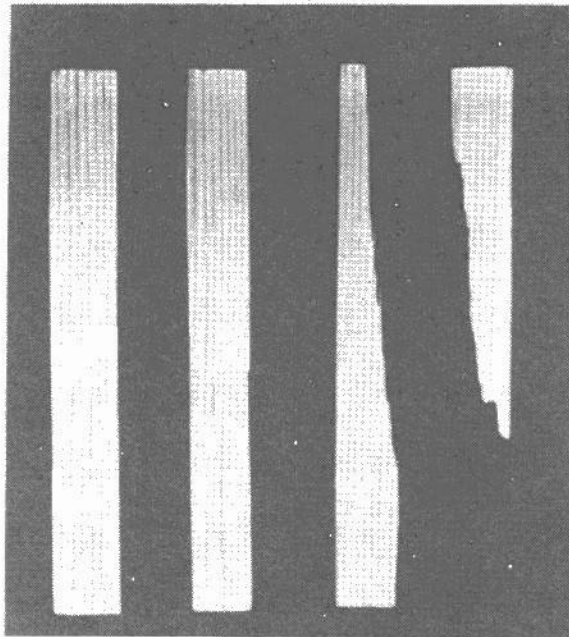


写真-4 東北のある山村で使用されていた木片

す。要するに黄土層がありますと、その崖淵に近く穴が井戸みたい掘って、底が斜めになって崖下の豚小屋に向いているわけです。それで、穴の上に二枚板が渡してある。夜は電気がつきませんから、手探りで、三本ほど下った繩をみつけ、これにつかまって用をたします。用が済んだら、この三本の繩の一本を取ってお尻を拭きます。そうすると皆さんは、次の人行ったらどうするんだと、すぐお思になるでしょう。現実には物凄い中国北部は乾燥地帯ですから、もうこれに触っただけで、バラバラッと汚れは落ちちゃいます。従って我々が感じるほど汚くはないわけです。生活のチエなんです。これは現在も使っております。

いつ頃からあったかという、後漢の時代から出てくる。上野の国立博物館の黄河文明展のときに、その埴輪みたいなのが陳列してありました。むこうの人はこういう豚便所のこととを「コン」(困)とか、「ゴン」とか発音してます。地域によって若干違います。これが中国式です。

この中国式に対して、同じロープを使うのでも、アフリカ式というのがあります。アフリカの特にサバンナ地域ですと乾燥していて川の淵でなければ集落は立地できません。それで川の淵にトイレは川上と川下に杭を打って、そして水面下見えない所にロープが張ってあるわけです。それで用をする時には川上に向かってしゃがんで、ロープにつかまってしない

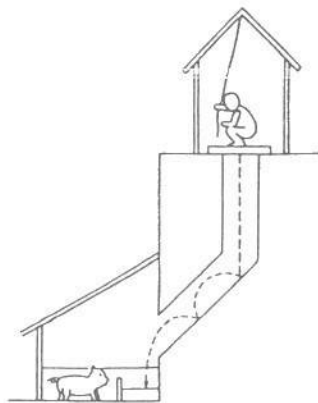


図-1 中国のロープトイレ

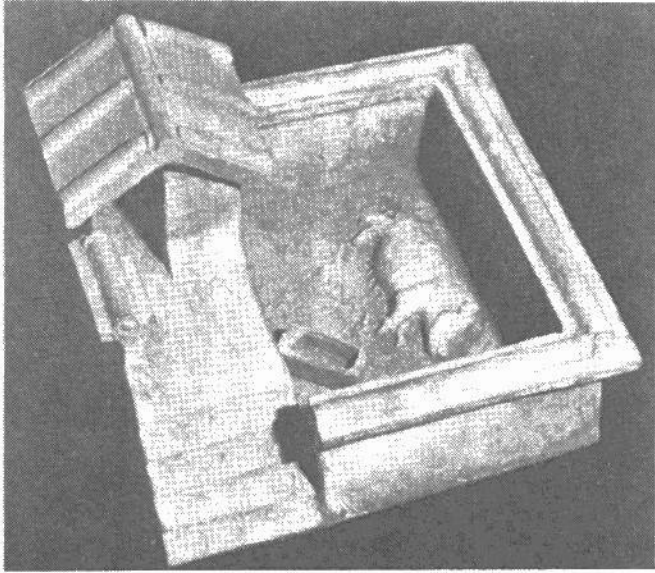


写真-5 豚便所の模型(中国、後漢時代)

と水流でひっくりかえっちゃいます。すると汚物は下流に流れます。そして用が済んだらこの人は川下に振り向いて、今度はロープに跨がるわけですね。そうすると、この人は水流に押されて前進しちゃうんですね。そうすると汚れが自然に拭けるわけですよ、するとそこへ魚がパァッと集って来て、ロープの汚れを丹念についばんじゃうから、次の人が跨がっても汚くない。完全な水洗便所ですね。暖かい国ですから、絶えず用をたす度に水浴ができるという便利さがあるわけです。そういうものがアメリカ式です。

それから十番目がとうもろこしの毛。これを一番使っている所はアメリカ合衆国です。皆さん御承知のとうもろこしの毛、これをポリバケツにいっぱい詰めておきます。それで用をしたら、これを紙代わりに摘んで拭くわけですが、たっぶり使わないとやっばりまずいですね。遠慮せず、たっぶり使って頂けば、ひゃっこくて、意外と柔らかい感じで痛くはないですから。とうもろこしの皮は駄目です。あれはすべっちゃって。

それからとうもろこしが出たついでですが、メキシコ辺りでは今樹木が非常に早魃で貴重品ですから、マッチの軸木でさえ木を使わないで、紙を蟬に湿したようなものでやっているくらいです。庭木も一般に切るのには許可が要ります。そこでこの黄色い紙がありますが、メキシコではこれは、とう

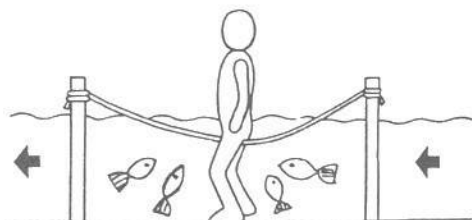


図-2 アフリカのロープトイレ

もろこしの芯です。芯をパルプ代わりにして作った紙でございませう。町を気をつけて歩くと食べちゃった後の芯を、いっぱいトラックに積んで走っているのを見かけます。これは製紙工場へいきます。

それから十一番目が木の皮、樹皮。これは場所はネパールでございませう。木の皮ですから裂け易いです。方向を互い違いにして持ったほうが、破けなくていいという感じですよ。こういうのも使います。

十二番目が布切れ、ぼろきれといいますが、これはブータン辺りでみかけます。

それから、十三番目が海藻。これは日本、佐渡島なんかでもみかけます。砂を良く洗っておかないと痛いと思えます。

十四番目が海綿です。これは地中海沿岸、ローマ帝国でも記録に出てまいります。

大体、以上十四種類が、紙以外を使用している国では使われております。これ以外に例外的に鷲鳥の首だとか、色々ありますが、そんなものは年中やるわけにいかないの、例外とみます。以上で紙以外を使っているところの話を概観したことになりました。次に、今度は具体的に紙を使っている国の紙はどんなのかということをご紹介したいと思います。

世界のトイレレットペーパー

まず今ヨーロッパが一番ひどい紙を使っているのは、ドイツかと思えます。これはウエストジャーマニーでもイーストジャーマニーも御覧の通り、かなりひどい再生紙を使っております。

私がいまテレビ、ラジオで悪口を言うものですから、この頃、ドイツの本を見ますと、ドイツだっていい紙であるよと、かなり広告が出ているわけです。それでこれを実際買ってみますと、我々から言うところ吸湿性がまだ足りない。ここへ水を落とすとビュツと丸まっちゃうんですね。吸い込んでくれないんです。そういう紙だから、吸湿性が足りないといふので、世界のいい紙を順番に言うところ五番目くらいにくるわけでございます。

それから色の問題ですが、このピンクのをドイツは隣のオーストリアとか、スイスにじゃんじゃん輸出していますが、スイスの人はあまり色に文句言わないんですが、イギリス人はこの色をとっても嫌うんです。国民性ですね。イギリスに出すんならせめて、ベージュ色と言いますか、ワインカラーと言うんでしょうか、なんか、こんなような色に出すとイギリスは使うんですが、けれどもこれもまだ例外でございます。もうほんの一部のレストランやなんかで見かける程度であつて、あまりこういうのは使っておりません。

イギリスは一般に日本で言えば藁半紙と言っている紙でございます。実はイギリス、貧乏なところへもってきて、トイレは個室なものですから、トイレへ入った人が丸ごと持っていけないにしても、かなりこれをメモ用紙として持っていていっちゃうお客がいる。それでイギリスはたまりかねて、とうとうどこから持って来たかわかるように、このミシン目を入れるところに印刷機械を装置しまして、コダックリミテッドとか、大学はキングスカレッジとか、官庁はちゃんとガバメントプロパティとか、シテイ・オブ・ウエストミンスターとか、どこから持って来たか全部わかるようにしたんですね。ついでに大学なんかは、「ナウ ウォッシュ ユア ハンド プリーズ」と、手を洗いなさいまで書いてあるわけですね。

一方フランスでございますが、フランスはイギリスのほうがまだ漂白剤を使って少し白っぽくなっているだけ良いほうです。フランスはこの通り全くハトロン紙でございます。

フランスの紙というのは、私は白いものだ、なんか文明国だから白いんだと思ひ込んでいたんですね。これがいわゆる観念論というか、駄目なんだね。私は学生諸君に、物事について、大学の講義なんていうのはとかく抽象論、あるいは観念論が多い。だから、良く実態を見てから議論しなさいと、どっちかと言うと私は実態論を非常に強調したほうの学派だ

と思うんですよ。その私自身が白いものだと思ったために、この茶色の紙なんでびっくりしました。使おうと思うと、これとつても使えないんですよ。柔らかくなくて、揉まないと思えない。揉んでも揉んでも、パリパリいうんでね。いくらパリだからってそんな馬鹿なことはないと思ったわけです。ベルサイユ宮殿に三日目に行ったら、一番茶色のがベルサイユ宮殿というくらいでして、いかにひどい紙を使っているかわかります。

現在フランス新幹線が出来ましたけれども、新幹線の中でも同じようなハترون紙を今でも使われております。ただし、ロールペーパーより最近はいよいよ違った紙が使われております。

それから、新しいフランスで一つ面白いことは、日本ではトイレットペーパーの巻き取り径が百五ミリと工業規格で決まっていますね。百五ミリ。幅は百四ミリとなっているわけですが、そういう規格が無いフランスなもんですから、シャモニーの公衆トイレなんか半メートル以上あるでつかいのが、使われていました。運ぶのは大変でしょうけど、一回つければかなり人件費は浮くということになりますね。

それから選挙の時ですが、フランス人を見るとすぐわかるらしいですが、非常に金権政治で嫌われている政治家の似顔絵の漫画をここに描きましてね、そしてトイレットペーパー

がこう紙幣になぞられてあるわけです。銀行の名前はバンクドウフリック要するにヤクザ銀行なんて名前がついているんです。それを良く読みますと、金だけが幸福じゃないよとか、借金返さないよは金持ちになれないよといったことが書いてあって、その紙でお尻ふいちゃおうというわけ。(笑) どうなんでしょうか、これは日本では選挙違反になっちゃうんですかね。

次はソビエトです。ソビエトはロールペーパーにミシン目が入っていない。しかも、クラッシュャーが悪いせいとか、もろに繊維が堅いんです。だから、ちぎるのが大騒ぎになっちゃってですね。前の人の使った後が荒々しく残っていて、なんとなく不愉快な感じでございます。このロールペーパーも実際ソ連では売り出したのも随分新しいのでして、一九六六年代でしたかね、それもモスクワに参りますと、グムっていう百貨店があります。その日用雑貨コーナーで売っていないんです、ロールペーパーを。文房具屋へ行かないと売っていないというような特殊品でございます。

むこうでは、ロールペーパーの代わりにこういう四角い紙が一般的に使われている。これはボール箱の中に入ってます、真四角でしかも本当に鶴が折れるような紙です。最近ではキエフの空港なんかでは、割合白っぽくなったただけまだ良いほうなのかもしれません。だけど紙の質は全く藁半紙でござ

います。

それから今から二年程前ですが、モスクワにロシアホテルと云って世界最大という、六千室の部屋を自慢しているホテルが出来た。そこで使っている紙でもミシン目が無いですよ。ドイツと似たりよったりな再生用紙でございます。

それから私がタイ国で日本の外務省から頼まれて、日本の地理や歴史を教えていたときのことなんですが、あるときタイの学生が私に、「先生のお誕生日は土曜日ですか」とって質問受けたことがあります。私はびっくりして自分の生まれた曜日が何曜日が知らないと言ったら、タイの学生は大学教授のくせに自分の生まれ曜日を知らないのかというような顔をするんですよ。私だけじゃなくて日本人の多くの人が自分の生まれた曜日を知らないんじゃないかという話をしたら、むこうのほうがいげんな顔をしておりましたけれども。

そのことから何故そうなったか、色々調べてみた。「私がどうして土曜日生まれかと聞くんだ」と尋ねた。私は年中紫色の風呂敷包みを持って学校へ行っていたんですね。学生はだから、「土曜日だって」言うの。へえーって。初めてわかったことは、タイでは未婚の女子学生は自分のスカート、むこうはバヌーンと申しますが、スカートは全部生まれ曜日によって色が決められております。当然男は自分の生まれ曜日を知っているわけです。何故かという、日曜日生まれの人

は木曜日生まれの人となら結婚が許されるんです。要するに生まれ曜日によって相性が決められているんですね。だから勝手に恋愛してしまいますと、後で必ず両親が反対するということになりますので、恋愛する前に俺はあの色着ている奴だから大丈夫だというので、恋愛しないとひどい目に合うというわけで、そういう決まりがあるわけでございます。

私の勤めていた大学は、大学ノートがピンクだし、それから私が名刺をタイ語で刷りましたらピンクの葉がついていて、大学内の売店へ行ったらキーホルダーを買おうとピンク。便所へ行くとピンクの紙がついていたわけですね。なんでだろうと思ったら、これ大学の名前にもなっているチュラロンコンという王様が、火曜日生まれだからピンクなんです。火曜日だからスクールカラーがピンクとこういうことになっちゃう。このチュラロンコンという王様は日本で言うところと明治天皇に相当するように、非常にタイの近代化に努力された方です。だから今タイでは、絶対トイレレットペーパーはピンクでないと売れません。それで日本は白色度六十パーセント以上なんて工業規格で決めていたんですが、二、三年前に、削除したというふうな状況でございます。

それからついでございますが、タイでは竹の繊維でバルブ代わりにして、紙も作っております。竹ですから、クラッシュヤーがよくないと、チクンと棘が刺さる恐れはありますけど

ね。こういうのがたまに使われております。

私はこういったトイレレットペーパーを集めてきて、ある時日本のロータリークラブで話をしたんです。日本人は外国に自動車でも何でもそうですけど、いろんな大きな広告出して、外国人からひんしゅくを買っているというのに、トイレレットペーパーにものを印刷するという感覚はなかったんですね。私は今、お見せしましたようにイギリスでは止むに止まらず、生活の知恵としてトイレレットペーパーにどっから持ってきたかわかるように印刷したという話をして、実物もお見せしたわけ。話が終わってしばらくして、夏休み前でした。私の知らない方から、御中元に大きなダンボールが届きましてびっくりして開けてみたら、トイレレットペーパー。しかも、入学試験に必要な英単語を漫画入りで印刷してあるんですね。ところが日本は御承知のように一巻きの長さが大体六十五メートルでしょ。とっても入学試験に必要な英単語は入りきれない。そこでお花の巻き、お野菜の巻き、昆虫の巻とか色々あって大体四巻一セットにして、ビニールの袋にはトイレも楽しい英語教室とかなんとかつけて売るわけですね。こんなもの教育ママに買われたら、子供かわいそうですよね。四つ覚えないうちは出ちゃ駄目よなんてね。(笑)しかし、一度日本はトイレレットペーパーに印刷することを覚えなすと、すぐ外国にパッと売ってます。

それから関東のほうでは、はやりませんが、今関西のほうでは会社が広告をトイレレットペーパーに印刷するようになりました。御覧頂けばわかりますが、すぐ、繰り返しがありません。境目のところに「お読みになりながら頑張ってください」とか書いてあります。

それから今、これはニューヨークで売っているんですが、トイレの中で雑学が勉強できるように、いろんなことが書いてあります。よく見ますと世界で最も安全な航空会社はどこだ、なんていうと、七番目にジャパンエアラインなんているが入ってます。ちょっと字が小さく御老人には読みにくいんじゃないかなと思うけれども、いろんなことが勉強できて面白いトイレレットペーパーです。日本製でございます。

アメリカはキンバレークラークという会社を作った柔らかいソフトな二重の紙が一般的なんですが、アメリカが面白いこと考えたのはクリスマス用にサンタクロース印刷して出したわけです。だけでも、これをヨーロッパに出しますと、ヨーロッパの人でもコチンコチンのカトリック信者がいますから、やっぱりこれは一種の神様みたいなものですから、それでお尻を拭かせるとは何事だと、アメリカの神経を疑うわけです。でもアメリカも一生懸命、オールドロングサイン、日本という蛍の光の原曲ですか、イギリスのロバート・バーンの詞なんかいれてやっているんですけど、ヨーロッパではこ

れは不人気なんです。しょうがないものですから、そこでアメリカはこういふばらの花とか、熱帯魚とか、そういうものを印刷したわけです。これがまた不人気なんです。どうしてアメリカ人というのは神経が鈍いんだと。このばらが綺麗なほど、ばらがかわいそうじゃないかと。汚すんですからね。その思いやりがあるし、人間のほうもばらではチクンと棘がささりそうで巧くないと。蝶ちよもそうですよね。蝶ちよも綺麗なほどかわいそうだし、こっちもなんだか粉っぽくなりそうな気がするんで、要するに変な生物使うなというのがヨーロッパ人の考えですね。

それでもアメリカは性懲りもなく出しているわけです。

日本はアメリカが花模様でやるなら、アメリカに絶対出来ないことをやろうというんで、今高知で作ってますけど、全部透かして花模様出すわけです。この透かしの技術というのはアメリカはまだ出来ないんです。だから、これは出来ないんですよ。今これは実際に、マキシムなんてフランスの大きなレストランでは、バリなんかでこれを輸入しております。日本ではよく結婚式の引出物なんかでこういう、鶴だとかなんかを透かして出すわけです。

ヨーロッパでは寒い国が多いものですから、トイレにみんなマット敷いたり、便座のカバーは毛糸で出来ているわけですね。あれを洗濯するたびに色を変えます。カラーコンディ

ションングして、今週は黄色とか今週は薄いグリーンとか、変えるわけですね。それに応じて日本もちゃんと石けんからタオルから、五色用意して、それでワンセットにして売っちゃいますからね。だからやっぱり日本の物は売れちゃうということになるわけです。大体日本人は、外国に無い、いかにも外国らしきお祭りを勝手につくっちゃいます。例えば、製菓会社はバレンタインなんているのやりますね。あんなお祭りはヨーロッパに無い話ですね。それを日本でいかにもバレンタインなんていると、そうなのかな、なんて思うような感じで、皆チョコレットを買ってきてプレゼントする風習ができる。トイレトペーパーのほうもその日はバーツとハート型を印刷して、中の芯のところはハート型のチョコレットが詰まっているんです。包装紙には、「芯の通ったあなたが好き」とかね。神の御加護をとかなんとかいって、神様と紙をひねってる。ではトイレトペーパーについてはこのくらいにしましょう。

トイレと世相

最近ですね、私が気づいているんですが、博物館長してると余計気になるんですけど、日本はお茶に使ういろんな瀬戸のお茶碗とか、志野がとうだとか、色々集めます。ところが瘦瓶となると集めないんですよ。用途が違うために陶器の

ほうには何の罪もないわけですが、たまたま用途がちがうと駄目なんです、実際、景德鎮の洩瓶とかね、それから韓国の洩瓶、それからベトナムの洩瓶。色々あるわけですね。こういうのは、やはり早く集めておかないと、無くなっちゃう。すぐ壊されちゃうんですね。それで私は一生懸命皆さんにお願いで、早く集めておこうと思ってるんですが、私が集める前にもう、外国人がこういうの見たらどんだん高値で買っていっちゃいます。それから、明治時代の男の朝顔ね、あれなんか、イギリスなんか年中雨降りますから、この頃は皆これ買っていっちゃって、ドア開けると玄関の横にこの朝顔がネジで止めてあるわけですよ。こういう使い方は、日本の昔を全然知らないからできるんです。だから、日本から段々なくなっちゃうんですね。

昔の便器のことなど全く学問的にも教えていませんから、このあいだもサントリー美術館で焼き物展があると、ちゃんと洩瓶が堂々と「へいびん」とかなんとかいっちゃって並んでいるわけです。洩瓶なども、そういうことで、早くに集取して置かないとわからなくなりますね。

それから、最近の出来事なんです、今度瀬戸内海に大きな橋がかかりました。橋のもとにユニチャームという会社の社長さんが、三井建設に頼んで、海拔百四十四メートルのゴールドタワーという塔を建てたんです。ここへ上がった人

が何処でトイレするんだということになって、この下に五億お金を出していいから、世界一の公衆トイレをこさえてくれという話が舞い込んだんです。世界一だったって何が世界一かということも、我我考えなきゃならないんですけども、とにかく、ふもとに作ってくれというので、「チャームステーション」という名前で二階建てのトイレをつくりました。

一階は無料なんです。二階を有料トイレにして、私は最初、トイレの博物館みたいなものにしたかったんです。ところが、段々考えてみますと、我々が面白いと思うトイレほど、開発途上国のトイレなんですよ。そういう国ほどまたナショナルイズムが強いものですから、馬鹿にするなとやられても困るといふことで、こんなトイレで外交関係を乱すようなことをしても申しわけないので、結局綺麗どころということになっちゃって、ベルサイユ風とか、ミラノ風とか、ウイーン風とか、オスロー風なんていう風に落ちついたのです。

つまり、ベルサイユ風というのは入りますと、大きな香料会社と組んですばらしいバラの香りがしてくるようには、またオスロー風というと回り全部森林になってまして、森林浴のような匂いができます。ウイーン風というのと、楽しいワルツのメロディーが聞こえてくるんですね。そういうトイレを作りまして、下は無料ですが、二階へいらっしゃるためには五百円取る。オープンして五か月程になります、いまだ実

際には使わせません。どうしても皆さんが見たがって、使われると困っちゃうわけですね。それでも五百円出して、毎日平均四百人から七百人の方が見物されるわけですね。お客さまは塔よりも、トイレの方へ面白いうんで来ちゃうわけですよ。それでいつから本当にオープンしましょうかって、社長は今や困っているような始末でございます。

そのおかげで私もこのあいだ、トイレのことで、これだけやたらずばぬけて綺麗なわけなんです。実は驚いたことに、そこへ車で来られる方はせっかく四国へ来たのだから、ついでに四国のどこか一周りしてこようということになるでしょう。そうすると、どうしても八十八箇所のあるお寺がありますから、全部見ないにしても、どこか見てということになる。ところが第一番札所の霊山寺というお寺の住職が、橋がかかるといふのを聞いたとたんに、今お遍路さんが使っているようなトイレは、おつりがどぼんと来ちゃうようなのが多すぎるんで、だめだからというんで、ご自分でお金を出して境内に、いい水洗トイレをつくられたわけです。それでどんどんお客様が来るのはいいんだけど、その割りに全然お賽銭がありません。トイレだけ使われちゃうわけですね。四国はただでさえ水道料金が高い所ですから、じゃんじゃん水を使うだけ使われて、今までの何十倍もの経費がかかった。その分だけお賽銭があればいいんだけど、全然上がらないんですね。

それでたまりかねて、一番札所の方ですから、全部八十八箇所にまわす新聞みたいなものがその実情を流したわけです。

そこで八十八箇所のお寺はびっくりして、これは大変だというので、お遍路さんの服装をした人でなければ使わせないよ、という寺もでてきた。すると、今度は観光バスが困るわけですよ。それで今度は観光バスの社長さんが連名でなんとか公共トイレと駐車場を開設してくれと、各県の方へ要望書を出すと言うことになって、私はその写しを見せて頂いたぐらいなんです。そんなこと言っても実際に観光バスは毎日走ってますから、すぐ困って、寺をあきらめて、大きなレストランの所へつけるわけです。するとまたレストランで食事でもしてからする方がいいんですけど、全然トイレだけ使って帰っちゃうというのが多い。新聞にも出てますけど、あまりにもひどいというので、レストランの前に昔の古いエレベーターにつくような真鍮のがちゃがちゃとした、やらい戸みたいな、あれつけちゃいましてね。少し先の方に監視所があって、予約していないバスが来るとすぐそれを通報するわけです。すると支配人の方ががちゃがちゃと鍵かけちゃって、満員御礼とこういうわけで入れないわけね。だから、それでもう四国は大変ですよ。みんな観光客は糞つまりになっちゃうんです。四国ではそれで困ったと言うわけですよ。

それで私は、とにかく一つの県だけ良くなったってしよ

がない、全部まわるんですから、県知事四人集まって頂ければ、お話ししてもいいと言ったんです。どうしたらいいかの作戦ね。全部八十八箇所付けろというんじゃないんですから、適当な距離がありますから、そこに少なくとも駐車場と適当なトイレのキャパシティにに応じてやればいいわけです。集まって頂こうと思ったんですね。そしたら県のお役人さんが、わざわざ飛行機代使って東京までお見えになって、いまだ四国の県知事が四国のために一か所に集まったことは無いというんですね。これは私もびっくりしました。ですから、トイレで集まるんだから、先生が決めてくれと来たんですね、それで私も実際に一周りこのあいだ講演で周りましてね、高知で本当にびっくりしたんですが、あの有名な桂浜ですよ、男の人のする便所はたった二つ、男の便器が二つ。その横にドアのこわれた女の便所が一つでしたかな。これじゃどうしようもない。それで結局女の方なんか困るから、直ぐに近所の喫茶店に飛び込むわけですね。すると喫茶店のほうもどうもそういう御客さんが多すぎるんで、テーブルにつくと会計のプレートがくるんです。それに鍵がついているんですけど、トイレのね。ですから席について何か注文しない限りは、絶対ドアが開けられないように考えてましたね。これがトイレに関する四国の現状でございました。これはつい最近のことです。

実際にいいの作っても、四国あたりの新聞拜見するとすぐ乱暴して壊しちゃうとか、非常にマナーが悪いということで、お客さんが来なくてもいいとさえ言っている人がいるくらいなんです。確かにそういう面もあるかもしれないので、私共トイレ協会といたしまして、虎ノ門へ行って直接文部大臣にお会いして、要望書を出してまいりました。それが一部の方はトイレなんか全然文部省に関係ないと思っていられる。というのは、トイレの教育とか、子供の躾なんかはお母さんがやることというか、家庭教育なんだと、学校教育ではないから文部省には関係ないと、こうくるんですね。しかし、そのお母さんは誰が教育しているんだということになるわけですよ。

このあいだ新橋のトイレがとっても綺麗になって、私共がベストテンの中に入れたわけです。そしたら、いろんなことが、JRですら、調査が行き届きます。ところがあそこはチップ制だったんです。チップ制のトイレをベストテンに入れたということでは欧米の最も悪い風習であると、その方はおっしゃるわけです。そんなものをベストテンに入れるやつがあるか。日本人というのは白か黒か、源氏が平氏かはっきりしたほうが良いと言ってますね。そういう中途半端なチップなんというのは困るといわけです。あんまりチップが悪い悪い

とおっしゃるから、私も少し頭にきまして、日本で古来神社仏閣でお賽銭あげているのはチップじゃないのかと言ったら、また怒っちゃいましてね。便所と神様と一緒にする奴があるかなんて。私は神道でも仏教でもトイレの神様というのはあるんだなんて話までやって、なんとかおひきとり願ったんですが、そうすることがありました。

実際新橋では貯金箱のすこし大きいのが置いてあってチップを入れるところがあるわけです。それを番人が居た場合と居ない場合で、どのくらいの差が起こるだろうかなんていう調査もして頂いたわけです。そうすると面白いことに、男の方はチップ払う人は払う。払わない人は払わない。男の人は、大体二割りくらいは払うんです。人が居ようと居まいと。ほんの少し、居ない時は落ちるといふ感じです。

ところが女性の場合は番人が居なかったら、がっかり下がっています。それから手洗所を一番汚すのはどのくらいの年齢かということを調べましたら、ちょうど中年のおばさんだということがでた。そこでがくと汚すんですね。何故そこがくと汚すのかと調べてみると、ちょうどそのお母さんが、小学生の時は、躰だとかマナーとか、そういうものを一切拒否しているような時代でした。この頃に育ったお母さんが今、お母さんになっていくということですね。

文部省の一部の方は、家庭教育だなんて言うけど、その家庭教育を誰が教育したんだということになるので、私は本當に文部大臣に直接お目にかかって要望書を出しました。やはり教育も責任がありますよと、何でも厚生省にまかせればいいというものじゃないということです。

それからもう一つ重要なことは、今は若い女性が随分外国へ行きます。すると、食べ物関係ですぐ便秘になっちゃうんですね。ところが中学校から大学までの教育で、ちゃんと勉強していれば、薬屋に行ってお薬下さいということはい言えます。ところが肝心の便秘のお薬下さいって、その「便秘」ということばを教えていないんですよ。これはね、手真似、足真似、便秘とわからせるには大変ですからね。これ、何でもないことなんですがね。「コンステイペイション」という言葉一つ教えておけば良いわけなんです。

このあいだも北海道で、寒い時には水は凍っちゃって水洗はだめだとか、いろんな話伺って、地域によってこうもやっぱり違うんだということも色々わかったわけです。私共ヨーロッパや、東南アジアまわっていると、まだ日本なんか良いほうですね。婦人と男性と、とにかく便所が二つに別れているのは、段々当たり前みたいになっているわけですけど、まだインドでは、男性用の公衆トイレはあっても、女性用の少ないですからね。ホテルは別です。しかし、外へ出たら、

ニューデリーの町の中だとか、ああいう所へ行っても女性用のが無い所がいっぱいあります。女性はよほどよくトイレの所在も知っていないと。ホテルからあまり遠くへ行かないことですね。すぐ戻ってこれるようにしておかないと、困るだろうと思いますね。そういう所がいくらでもあります。

水洗トイレの非文化性

それから、私は今水洗トイレというのはとりあえず便利なんですけど、将来の事考えて、今のような水の無駄な使い方は巧くない、つまり文化ではないと思っております。まして、日本の今のシステムでは、ほとんどが飲み水使うんですね。大体キャバシテイ、一回で十二、三リットルの飲料水が流れていっちゃう。実際に東京で統計取ってみますと、女性の八割りが外へ出た時にデパートとかなんかで、自分の音が外へ聞こえるのが嫌なものですから、一回の所用に何回も水を使う方が八割いるわけです。それで計算すれば、大変な水の無駄使いということになります。これはやはりなんとかしなきゃいけないだろうということが一つですね。

紙も物凄く無駄ですね。今ロールペーパーをどのくらい使っているかといいますと、京王プラザで、一九八〇年ですから八年前に調べたところ、年間にどのくらいのトイレットペーパーを使うかといいますと、八万六千四百八十三ロール。

一年間に。八万六千四百八十三ロール。長さにして、五百キロ以上になります。そして、そのあいだ御客様が何人泊まったかというと、三十八万四千六百五十五人。一日一人当たり約十三メートル使っている計算になります。別の計算では大体男の人が三・五メートル一日に、女の人が十二・五メートルという統計もございます。

これ一日の話ですよ。これに人口をかけていただければ、わかりますが、一日に日本人だけで地球の赤道を、ロールペーパーで巻くと十回転して余るほど使っていることになりました。使い過ぎでなくてなんだろうということですね。もう、癖で、クルクルッと回しちゃったりね。それから、便座に座るのが気持ち悪いから便座に紙を敷く方があるわけですね。そういうことで、私はもう少し、トイレの紙を無駄使いしないように、まだ世界の三分の二の人が紙使っていないからいんですけどね。日本文化だなんて思って、後ついてこられたら、えらい事になります。今のうちに紙を使わないようにというので、いろんなメーカーの方がウォッシュレット式のを開発して下さったわけです。

ところが困ったことに、今度はこれまた〇・〇一パーセントくらい普及率なんですけれども、あれで育っちゃたお子さんとは自分でお尻拭けなくなっちゃったんですね。これもほとんどは、よそのうちに行かれないし、ただでさえ田舎のおじ

いちゃんのうちへ行くと、昔のトイレでおつかなくって跨げもしないなんていうのもいるわけですよ。そのくらいですから、慣れですからしょうがないけれども、これやっぱり全部のやり方知っておかないと、外国旅行も出来ないということになっちゃいますよね。これも教育の問題なんです。

やっぱり糞尿の排泄というのは非常に重要なことで、騎馬民族、特に蒙古やなんか、あっちのほうの連中が物凄い機動力があるというのは、馬に乗ってってお尻を横へちよこんど外してそれで小便も大便もしながら走れるんですね。馬もなんか後ろへしながら走っちゃうんです。それも出来ない奴が馬に乗っかっていたんじゃない、ということくらいなんです。戦力にえらく差がついてくるんですね。

糞尿の利用

そんなことで、とにかくこれからいろんな問題あるんですが、私はこの前朝鮮見て来て一番感激したのは、朝鮮でこのあいだ辞めた大統領全斗煥ですかね。あの人がとにかくオリンピックというものを一つのために色々改善した。新聞読みましたら、五万一千二百箇所南鮮の公衆トイレを、糞尿分離式に変えているんです。今完全に百パーセントになったかどうかは私知りませんが、半分以上はいいってたと思います。

糞尿分離式といっても、要するに斜めの網みみたいな張ってあるんですね。すると糞は横に転がっていつちゃう。水溶液だけ下がって来て、下のポリバケツにはいつっちゃう。栓すれば、そのまま尿だけ日本に輸出できるというわけですね。糞は自分のプランテーションに送っているわけです。

尿はどうするかというと日本の製薬会社が全部買っているわけです。何故買うんだというと、全然我々の小便と違って韓国人の小便というのは質が違うんですね。食べ物が違う。特に、朝鮮人参だとか、にんにくですか、ああいうもの沢山食べますね。それで、それを後からいくら粉にして日本人の尿に加えても駄目なんです。胃腸を通さないと化学成分が全然違うんです。それで、ある製薬会社から、今は企業秘密でどうやればいかなんて言わないけれども、ちよこつと細工して、ガラスのアンブルに入れちゃいますと、なんか物凄い高価な男性ホルモンに変わっちゃっているんですね。それで今、外国にそれをまた売っているわけですね、日本人がそのやり方をいずれば韓国人も知るかも知れませんが。その時がこわいから一生懸命製薬会社は、今日本人の尿でなんとか巧くならないかと研究はしているわけですね。だけでも、てっとり早く同じような食生活をしている人はいないのかどうかと、私の所へ聞きに来て初めて私もわかったんです。

それで調べてみたら、ほとんど韓国人と同じようなものを

食べているのがアフリカの一部にあつたんですが、人口が少なすぎるのと、それから、アフリカから小便運んでいたんじやコストがかかつてしょうがないですよ。それでやはり今のところは韓国が日本の要望に一番あつている。むこうは喜んで食べているわけでしょ。おまえ製薬会社に入ったんだから、少し唐がらし余計に食え、なんて、それはちよつとかわいそうですからね。向こうは喜んで食べているわけだから、都合がいいっていうことです。

実は幕末の農民は、ちゃんと糞と尿と紙を桶に三つに分けて、それぞれのリサイクルを図っていたんです。それを今、なまじ外国の文化が入ってきて、何でも水で流して、糞も尿も膨大な紙も一緒に、下水道に流すというのは本当に文化なんだろうかと、なんかこころへんで考えないとえらいことになるんじゃないかと思うんです。

現にアメリカなんかの建築の本を見ますと、やはり日本のように、プランテーションに糞尿をもっていくことが、理想的だということは考えているようですね。だから、ただ問題は臭みをどう解消できるかということ。それから肥料性を損なわないように、いろんなばい菌が殺せるかとか、そういうような問題がまたからんでくると思います。今、本当にアメリカは、あの広い広大な土地を農業で全部駄目にしちゃつたんです。もとへ戻すには何百年もかかっちゃうのださうで

すね。その点まだ日本なんか早い時期に政府がブレイキかけたので、まだいいというくらいです。

それでもやはり、この前、八戸の方にプランテーションの研究で行きましたけど、都会の方が大きいりんごを凄く好むものだから、大きくしたくて何か注射するんですね。そのうえワックスぬつたり、いろんなことやるんです。

私が行つたとき、農家の方が、これはと出して出してくれたりんごは、鳥がつつついて食つたような穴だらけの貧相なりんご。ところが、むこうはこれは絶対農業は入つてませんから、鳥が食べるんだって。他のは鳥も食べないつて言うんですよ。それが東京でわざわざ売つているんですね。ふざけている話なんですけど。買うほうが悪いつて言えば、それまで、たしかに買うほうが悪いんでしょうけど、喜んで買うんだからしょうがないですね。

驚いたのがリングの下の農業が垂れた泥を、時々新しいのに代えるんですよ。プランテーションの横に崖がありまして、そこへその泥を捨てているわけです。そこから雑草が生えるんですが、今度は牛が来てこれを嘔ると、牛が泡吹いてひつ倒れちゃうんですね。だから捨てちゃ駄目だとか言つて、あのへんの果樹園は周りでは大騒ぎやっていましたね。そういうことで、いずれは止めるでしようけれども、我々はそういう農業の問題は研究が行き届いたせいとか、アメリカよりは早

くにブレイキかけたから、まあ、良かったんですね。でもまだ一生懸命、今鳥がどこにいるとか、蟬がいくらいるとかいような調査をやって、それで影響を調べているようですけども、段々そういう話になってきて…。

衆知を集めて

それで、話があっちこっちいたしましたが、先般、私が面白かった話なんですけど、世田谷の区長さんが、ちょうどY字路になっている町の真ん中の、この三角地帯の所に良いトイレを、公衆トイレを作りたいということで、五十万の懸賞金をかけて区民に公募させたんです。私はその選考委員長とこののをさせられたんです。いいのが出てきまして、結局、二階建ての公衆トイレで、全部が非常に明るくて、昼間も明るいし、夜もかっかと、まるでトイレ全体が大きな電球みたいに明るいわけですね。町のシンボルになってそこはもうパッと明るくてという面白いもので、今作っている最中でございます。

そのとき私はこれからの公衆トイレは、付加価値がなければ駄目だと主張しました。早い話が、ちょっとトイレに入ったら、電話がかけられるとか、煙草が買えるとか、あるいはポストがあればなお結構。そういうような付加価値があってほしいということで色々議論して、やることになった。ただ

二階がスペースの関係で階段が一つしか作れなかった。向こうにつきぬけられないんです。場所がなくて。だから結局二階へいらっしやった方はまた戻ってくることになるんですが、もし奥に、へんな者がいたらご婦人が気分が悪いだろうと思つて、ついでだから下へ交番も入れちゃえなんてことになつたわけです。交番のほうで、そんな臭い所と一緒に嫌だとおっしゃったら、今の浄化槽は、そんなに臭いものじゃないんだということを説明してあげようと、いろんなパンフレットを用意していたわけです。

ところが私も本当にカルチャーショックを受けたんですが、全然私の発想と違うわけなんです。つまり「そんな所には一緒に入れない」とおっしゃるから、「どうして駄目なんだ」と言ったらですよ。「トイレに爆弾仕掛けられたら、俺達どうなるんだ」と、こういう御返答でした。だから公共的な事を何かやるというのは、大変なことだと、我々も全然予想もしなかった御返事でびっくりしたんですけれども、立場が違えば、そういうことがあるんでね。私がテレビやラジオで、この頃トイレの事言いました、それがBBC放送でヨーロッパに流れ、ABC放送でアメリカへ流れた。やっぱり非常にトイレの問題は関心があるし、ユニークなことだと思うのですが、先般、私がアメリカへ参りました、もう、大学の名誉教授とか、博物館館長なんていうのはいくらでもいるわ

けですが、トイレ協会会長なんてたった一人なんですわね。それで、かなりテレビで知れ渡ってしましてね、「ああ、おまえだったのか」なんて言っていて、あっち、こっち、「まだアメリカの独立以前のトイレがあるから見に来い」なんて言われて。(笑) だいぶまわった事があるくらいなんですわね。非常に関心はもっています。そういう意味で出来れば私は日本トイレ協会なんていうのは、今度は国際トイレ協会に昇格してもいいかな、なんて思っているくらいなんですわね。まだ社団法人でも、財団法人でも全然ないわけです。それでも、ここ三年くらい、ジャーナリズムが応援して下さったり、いろいろな方のご協力でとにかくここまで、段々綺麗になってるのは皆さんも認めて下さっていると思いますけれども、良くなりつつあります。

これからは私は、もしなんかやるとすれば、病院のトイレなんかまだ汚いような気がするんです。伝染病があるかもしれないトイレの個室の中で、手が洗える所が無いですわね。鉄道はたいがい中で洗えるでしょう。それが洗えないから、なんとかかそういう風にしないといけないと思いますわね。理想を言えば、金隠しの上が手を洗う所になっていて、用が済んだら直ぐに手を洗えて、それから自分の見づらくらいをして、あっちこっち触って出てくるんじゃないと、なんか不潔なような気がするんですわね。トイレの外にいくら昇水水なんか置

いたって、その間どうなっているか問題というわけ。

第一ね、矛盾しているということに、当然お医者様だって気がついていと思うんですが、御承知のように、医院長さんとかお医者様は建物出来てから赴任してくるわけで、まづ設計屋さんが勝手にトイレの個室作って小判型の穴を開けておく。二番目に便器屋さんが便器をセットする。三番目に水道屋さんがパイプをつなぐというように感じて、あまりにも分業社会になっていて、初めから医院長さんがその設計に参加するということはないですわね。やっぱりこれから高齢者社会になりますから、お年寄りが倒れてからでも直ぐ意識があれば、非常ベルが押せるような位置にやっぱりボタンがなきゃいけないと思いますわね。そうかといって、掃除する度にモップが触ってピンピン鳴っても困りますから、掃除することも良く考えて、要するにいろんな人の知恵というものを集めて、皆で考えるという他に手はないんじゃないかと思っております。

どうも長い間くだらないお話をしました。御清聴ありがとうございました。

討論

日本はトイレ先進国

西村 世界各国のトイレを見られた上で、トイレの内装と

言うんですかね、個室とか若干の時間の空間とか、トイレは個人に与えられた空間となるわけですね。そうした場合の内装はどんな風な、各国のはどんな状況でしょうか。

西岡 もう、全部千差万別ですが、まあ、汚らしいほうが圧倒的に多いですね。ソ連なんか立派なホテルでも、第一タイルの目地がね、真すぐにあつてないですよ。なんでまっすぐに出来ないのでしょうか、日本みたいにピンと糸をはったりして、タイルのへりが揃っているじゃないですか、メジの幅も。ところが片方広がったりして、ああいうところぞんざいというか：本当にぞんざいですよ。室内の色もほとんど一色ですね。

トイレを綺麗にしようなんて感覚は、もうよほど文明国だけですよ。今だって、やっと中国の万里の長城を見に行くところの、北京のすぐ郊外ですけどね、女性用の便所に、しきりのついたてがついたんです。何もなくて、歩いているところから見えるんですからね。これやっぱり、日本の女性だと困るんじゃないですかね。ただついたてがあるだけで、こっち向いて皆女の人はしゃがんでるわけですけどね。そんな程度ですよ。そのトイレを綺麗にするタイルとか、あまり考えないんですね。日本は今現在、トイレ協会があるだけでも、先進国です。(笑)トイレ先進国。いつの間にかね。そうでしょう。我々、毎日使っているこの紙だって、よく考えてみれ

ば、まず適度な吸湿性がなければ嫌ですよ。水を、はじいちゃうようじゃ。トイレット・ペーパーに私が万年筆で何時、何処って字が書けるというのはまれですよ。

その次、吸湿性があり過ぎて破けちゃ嫌ですよ。適度な強靱性でしょ。ところが今度は強靱性が強すぎると膚ざわりが悪くなるでしょ。非常に矛盾した要件を上手に巧くやっているのは、日本のトイレットペーパーなんです。

公衆便所の歴史

北川 公衆トイレが進んでいる国というのはどうなんでしょう。公衆トイレ自体の歴史というんですかね。いつ頃の時代からあったんでしょうか。

西岡 公衆トイレの一番古いのは中近東の方の国です。メソポタミアとかね、ギリシャの方ですね。かなり公共トイレになっている。しきりもなにも無くて、みんな並んで腰掛けてます。ワーワー話しながらね。

日本では公衆トイレと言えるのは、平安朝中頃ですね。有名な京都の今、錦小路という所ね。あれは昔は糞小路と言ったんですよ。時のみかどに、あまり糞小路という言葉が汚すぎるから、いい言葉に代えてはと言われて、糞の代わりに錦小路と呼び変えた。今はスーパーマーケット、食料品店の街というようになったんですね。ところが、その昔の絵

がありましてね、路地の奥が公衆便所。みんなそこで草履や下駄を足駄に切り替える。だから、足駄で境があつて、足駄にみんな履き直して、日本人皆足が短いから、ピラミッドにお尻が触らないようにその足駄を考えたわけですね。だから道が悪いから足駄を考えたという民俗学者の理論は間違いだね、むしろ、糞尿のほうが先、足駄が出来たというのは。ただ、その頃、紙はまだ使っていない時代なんです。ところが日本の国宝の絵巻物には、そこに紙が描いてあるんですよ。そこで私に言わせると、平安朝の絵巻物ではなくて、江戸の中頃以降にある画家が昔の話を書いて描いて、紙だけはどうもうっかりして描いちゃったのね。葉っぱだったらよかつたんだけど。それでその絵の時代が私にわかつたわけ。トイレについてはいろんな問題が起こつて、しょうがないですよ。まだ学問になつてないんですから、そういうことはね。

北川 中近東がやはり古いんですか。

西岡 公共の便所といえるかどうか考えるんですけど、日本の貝塚の時代でも水辺に棧橋が出てまして、杭の先の方でまとまって糞が落ちているので、そこで何人かがやはりやっているから、それも公衆便所だと言えば、縄文時代からあるということになります。

トイレットペーパーの質と下水処理

谷口 日本のトイレットペーパーの質が非常に良いということも、下水道サイドから見ますと、良くなりすぎて実は困っている面も若干ございます。

西岡 良くなり過ぎて？ どういうところがですか。

谷口 下水処理というのは御承知のように、水から綺麗な部分と汚れた部分を分離する作業ですね。分離した汚れた部分は当初非常に水分が多いものですから、それから更に水を脱水して、クレイケーキじゃなくて、スラッジケーキというものにするわけなんです。最近はそのスラッジケーキにする時に水の抜け方が非常に悪くなってきているんです。

西岡 綺麗に水が分離出来なくなるんですか。

谷口 しくくなるのです。それはどういうことかと申しますと、非常に脱水しやすいスラッジといいますのは、尿化蛋白質ですとか、脂肪とか、炭水化物とかそういうった食べ物に機縁する有機物とそれからトイレットペーパーのような有機物の両方があるわけです。全有機物から繊維分を除いたものが多くなればなるほど、脱水が難しくなる。ところが最近のトイレットペーパーは、その繊維分が溶けて、無くなつてきちゃうわけですね。昔のほうがずっと大きかつたんですけども、最近はこちらと溶け易くなつてきているんです。確かに溶け易くなつて流れてくる分には非常にいいんですが、最終的にはその処理をする時には、以前に比べて脱水しにくくなつ

たという点においては、ちょっと困った。まあ、それはでも別の技術でサポートしないといけないんだと思いますけれども。それはちょっと置いて、教えて頂きたいところがあるんですが。

トイレの神様

先程、先生、ちょっとトイレの神様のお話をされましたですね。日本の地方によってトイレに神様がいるんだというような思想をもっている所がありますが、外国ではどうでしょうか。

西岡 私の知っている限り、ヨーロッパでは神様は出てこないですね。

谷口 ああ、やっぱりね。

西岡 中国と朝鮮と日本だけです。神様が居るのは。

谷口 それはやはり、肥料とかそういうことを考えた上で何か恩恵をもたらすとか。

西岡 いや、そうじゃなくて、まず子供がね、昔溜めに落ちるのが危ないから、それを守ってもらうためとか、そんな感じ。

それから、トイレを綺麗にする女の子は美人になるんだよとか。

再生紙の利用

福田 日本で相当新聞紙の回収が進んで、再生してトイレ用トーパー作りますね。やはり日本が一番進んでるんですか。

西岡 進んでるんじゃないかな。一番再利用しているみたいね。紙を日本が消耗しすぎるせいかな。ダンボールにしても何にしても。だから、必然、進んじやったんじゃないでしょうかね。

福田 他の国では再生紙でなくて、木材のバルブから直接取られたような感じですか、それともほとんど再使用なんですか。

西岡 ほとんど前者でしょう。再生紙使っているのはドイツとか、いくらかありますけどね。とうもろこしなんていうのは、どうせ捨てちゃうんだから、あれはいい紙ですね。とうもろこしの葉っぱなんか、どうなるのかな。あれ使えないのかな。

綺麗なトイレ

福田 もう一つお願いしたいのですが。数年前までは、公衆トイレというのは汚い所の代名詞みたいな感じですが、最近、トイレ協会で随分力入れられて、綺麗なトイレを作ったんですけれど、やはり綺麗なトイレにしてやるとその

使い方というのもの、だいぶ綺麗になってくるものですか。

西岡 それはありますね。綺麗な壁画を描いたら落書が無くなったとか、そういう話はよく聞きますね。

福田 国別で見ますと、日本のトイレの使い方というのは、どの程度の位になるかなど、どういうようなお考えですか。

西岡 二年程前に韓国の写真屋さんが、日本は偉そうなことを言っているけど、トイレがきたないじゃないかって。汚い所ばかり狙って写真撮って写真集出すって言ってました。「あんまり先生綺麗にしてくれるな」って言うのがいましたけど。ひどい人がいるものだ。まだ、出版されたかどうか、見てませんけどね。日本人で買う奴はいないだろうと思うんだけど。

(笑)

でも、このあいだ暮れにボストンへ行きましたら、カナダの写真屋さんがカナダのいろんなトイレを、これは外に小さな小屋みたいになっているんだけど、そこに巧く鶏がいたり、夕日からこう撮ったり写真として綺麗なトイレばかりを主題にしながらも、雲囲気の出る面白い写真集を出した人がいて、ああいうのも、場所によってはそこまできているんですからね。

団地のトイレ改善は急務

照井 先生は公衆トイレの改善とか、それから、病院のト

イレの改善とか、これからやっていきたいということですが、トイレ協会も一つ団地のトイレの改善というものを運動していただきたいのです。

西岡 団地ね。

照井 ええ。実は私は団地に住んでおりまして、気がつくのは実にトイレのスペースが小さい。

西岡 狭すぎるのね。

照井 この前は喚起扇が故障しまして、もう臭いがこもっちゃってしょうがなかったです。それから、もう一つ、男女兼用の便器ですね。うちの小学校の息子なんか便器に巧く命中させる事ができなくて、まわりの床を汚すんですね。汚れた時に男性の生理に合っていないんじゃないかなんてことを感じるわけです。ですから、昔ながらの朝顔ですか、私が田舎に帰りますとあるんですけど、それでやるとほんとです。また、そういった団地のトイレというものは非常に狭いし、便器も男女分けてほしいですね。外国の団地なんていうのはどうなんでしょうか。

西岡 いや、まだ僕は日本のさえ知らないくらいで、とてもないです。やはり今度は提案しておきます。そういうことも、重要なことですよ。

小野 質問という程のことではないんですけど、感想だけ述べさせて頂きます。

最初に先生のお話になっていました女性側の立ち小便の話、私も田舎にいた頃に、うちのばあさんがよく小便をゴザの前にしてのりを、ちょっと思い出しました。田舎にいた頃には、内便所と外便所というのがありまして、内便所はなかなか使わせてくれなかったんですよ。家の最長老の許さぬ限りは。昔はそんな偉い人がいましたから。それでも内便所に入ったことはあるんですが、いろんな花瓶がおいてあったり、なかなかトイレ以外に何か素晴らしい物があつた気がするんですね。そういう飾りなんかトイレを中心にしてなんか工夫してあつた。例えば、手水鉢なんか非常に素晴らしい形しておられますね。

尿が薬になる

藤森 最近読んだ本に、尿は万病の薬であると言つて、尿を飲んでいる人がいると書いてありました。

本当に飲めるんでしょうか。(笑)

西岡 旨くはないと思いますがね。(笑) よほど水が無い時ならしょうがないから飲むのもいいんじゃないですか。ただ、目薬にする話があります。朝鮮の漢方で小さいお子さんの尿をね、大人のは何かアンモニアが強すぎるのか、駄目なんですけど、子供は使っていると書いてありますね。チベットの人も、子供の尿を使うと聞いてますね。それか

ら目薬に五か月までの産婦の尿が良いという話がありますね。藤森 先生まわられた国で、尿を飲んでる習慣があるところはどうでしょうか。

西岡 いや、聞かないですね。

「バツポ」「ババ」の意味

藤岡 あともう一つよろしいですか。福島県に疎開してましたら、大便のことを「バツポ」という方言を使っているんです。この語源はなんか？。

西岡 大便のことをバツポ。京都で「ばば」と言いますよね。関東地方だと汚いこと「ばばちい」なんて言いますよね。あの「ばば」。あれは国語辞典なんかには、おばあさんらしいなんてことからきたみたいなこと書いてあるけど、おばあさんに変装失礼なことで、あれは、ミクロネシア語で価値がない、ウオースレスということに使っているんですね。ミクロネシア語からです。おばあさんらしいはかわいそうだな。

豚便所

稲場 豚便所は、日本には無かつたんですか。

西岡 このあいだ花巻の奥の遠野と言う所で見ました。古い民家の中にちゃんと男用とね、女用とね、ぶら下がっているロープの太さが違うんですね。男性用の方が太くて、女性

用のが細くなっているような感じでしたね。

稲場 そうですか。それは豚便所ですか。

西岡 ロープでお尻まで拭いたかどうかは、ちょっとよくわからない。別のもので拭いていたかもしれない。

稲場 そうですか。遠野に。

西岡 遠野にありました。写真撮ってきました。

渡辺 私、能登へ行きましたらね、あれはお尻を拭く綱ではないと思うんですが、むしろ引っ張って、つかまって力む綱ではないかと思うんですが、ぶらさがっているのがありましたね。

西岡 スペインでも、拭くのではなくて、むこうの人は腰が弱いですから、長いとき困るんです。つかまるためにロープがぶらさがっているのはスペインでもあります。

稲場 お約束いただいた時間が、もう二十分も過ぎました。有難うございました。実はもっともっと、御質問もしたいし、話もお聞きしたいんですけれども、次回また機会を持ちたいと思います。

益々、御活躍をぜひお願い申し上げます。それではこれで終わりにします。

西岡 どうも失礼しました。

(昭和六三年九月十七日)